

1月6日 高校生・小学生で 書初めを行いました



回 覧

中央地域公民館だより

第55号
【発行】
須坂市
中央地域公民館

中央地域 17 町
人口 6876 人
世帯数
3,189 世帯
1 月 1 日 現在

2025年1月6日(月)に中央地域づくり推進委員会主催の「書初めをしよう」を開催しました。昨年に引き続き今年も市内3校の高校生に講師をお願いして、高校生21人と小学生23人が参加。高校生のお姉さん先生のアドバイスを聞きながら取り組んだ「書初め」は先生(高校生)が驚くほどの上達ぶり。小学生からは「丁寧に教えてもらえた」、「説明がわかりやすかった」などの声。高校生からは「小学生が上達するのを見て自分のことのようにうれしかった」「小学生を指導しながら自分も学ぶことができた」などうれしい感想が。



書初めがひと段落したところで、創成高校による書道パフォーマンス。青い大きな紙(2m×2.7m)に大迫力の【磨穿鐵硯(ませんてっけん)】の文字。強い意志をもち続け、物事を達成するまで変えないこと。貫くこと。小学生のみなさんも何事もあきらめずに頑張りたいと部長さんからのメッセージが。

書道パフォーマンスで書いていただいた作品は生涯学習センター1階の図書コーナーに展示してありますので、ぜひ見に来てください。



↑
こちらから「中央地域公民館」のホームページをご覧いただけます。公民館だよりカラー版も閲覧できます。

重要伝統的建造物群

須坂市の伝統的な街並みが、2024年8月、下記の「重要伝統的建造物群保存地区」(略して重伝建)に選定されました。保存地区は中町交差点で交わる大笹街道と谷街道沿いの町場。江戸末期から昭和前期にかけて建築された、大壁造の商家や長屋、土蔵、寺社などの建物が味わいある景観をつくっています。先日、中央地域づくり推進委員会の事業で芝宮神社、浄念寺、旧越家住宅、宇治の園茶舗、旧小田切家住宅などを巡ってきました。普段何気なく歩いている町並みが改めて学びながら巡ってみるとまた違った景色に見えてきます。中央地域づくり推進委員会の2024年長野県地域発元気づくり支援金活用事業の中で重伝建の説明や19カ所(2025.1月時点)の地図や説明を掲載していますので、ぜひお散歩にご活用ください。

伝統的建造物群保存地区

昭和50年の文化財保護法の改正によって伝統的建造物群保存地区の制度が発足し、城下町、宿場町、門前町など全国各地に残る歴史的な集落・町並みの保存が図られるようになりました。市町村は、伝統的建造物群保存地区を決定し、地区内の保存事業を計画的に進めるため、保存条例に基づき保存活用計画を定めます。国は市町村からの申出を受けて、我が国にとって価値が高いと判断したものを重要伝統的建造物群保存地区に選定します。(文化庁ホームページより)

①スマートフォンのカメラで下の二次元コードを読み取ってください。



講座のお知らせ



【2月21日(金) みそづくりを学ぼう】

手作りのおみそを味わってみませんか？ おみそは、1人1kgを仕込んで持ち帰れます。

《時間》午前10時～午後1時(予定)

《定員》20人(申し込み順)

《場所》生涯学習センター209 料理実習室 《講師》みそと伝統食のみなさん

《参加費》700円 《申し込み・支払期限》2月5日(水)～14日(金)

《持ち物》エプロン、三角巾、マスク、食器用ふきん、筆記用具



【お知らせ】地域のイベントなど載せたい情報がありましたら、中央地域公民館までご連絡ください。

*** お申込み・お問合せ *** (平日9時～16時30分)

中央地域公民館 〒382-0013 須坂市大字須坂747-1 (常盤町)

TEL 026-214-6086 FAX 026-246-3906

メールアドレス: c-chuo@city.suzakanagano.jp